



子作りでいい?

助けられた騎士の恩返しは

人助けを
しただけなのに

お
く
臍
奥
に
俺
の
子
種
を
た
っ
ぷ
り
注
い
で
差
し
上
げ
ま
す
か
ら
ね
…
!

あ
な
た
が
俺
の
子
を
孕
む
ま
で
何
度
で
も
…
!

ど
う
し
て
こ
ん
な
こ
と
に
な
っ
ち
ゃ
っ
た
ん
だ
っ
け
…

ほん

ほん

ほん

ほん

ほん

ほん

ほん

ほん

ほん

ほん

ほん

ほん

ほん

私は
マリー・エバンズ
この森で暮らす
薬師です



仕上げに
この薬草を…

コン
コン



薬草で作った薬を
街で売って
生活しています

森の奥深くにある
この家にお客さんが
来ることは無い

たまたま
森で迷った人が
助けを求めて来ることは
あるけれど…

また誰か
迷子になったの
かな？

どちらのまき…





ずっとあなたと貴女を
探していたのです

やっと
見つけた…

わっ
綺麗なひと…

え
っ
?!
っ
っ
っ



俺は
ノア・バートンと
いうものです

以前
診療所で
魔物の毒に
侵された騎士を
助けて下さったのを
覚えてはいませんか？

診療所？



どうぞ



ありがとうございます
ございます

それで
あなたは…？

そういえば
以前街の診療所に
薬を売りに行ったとき…



これが
前回の依頼
頂いた薬です

ありがとう

あと
火傷用の軟膏と
解熱ポーションは
あるかい？

はい
持ってきて
います

助けてくれ!!!

どうした!
何があった!

あれは
帝国騎士?!

街の北部の森で
魔物退治の任に
当たっていたんだが

隊長が俺を
庇って腕を…!!

黒い斑点…!!

駄目!
このままじゃ
死んでしまう!

今すぐこの
解毒薬を…!!

これ以上
魔物の毒が
まわると
命が危ない!

なん
だって?!





アノ...

目が覚め
ましたか？



.....

貴女は...

斑点も消えまし
もう大丈夫そう
ですね...



ああ
ありがとね
助かったよ

では
私はこれで...
念のため
しばらくは
安静に



名前とこの森に住んでいるという事しか分からず
休暇の度に森の中を探していたのです



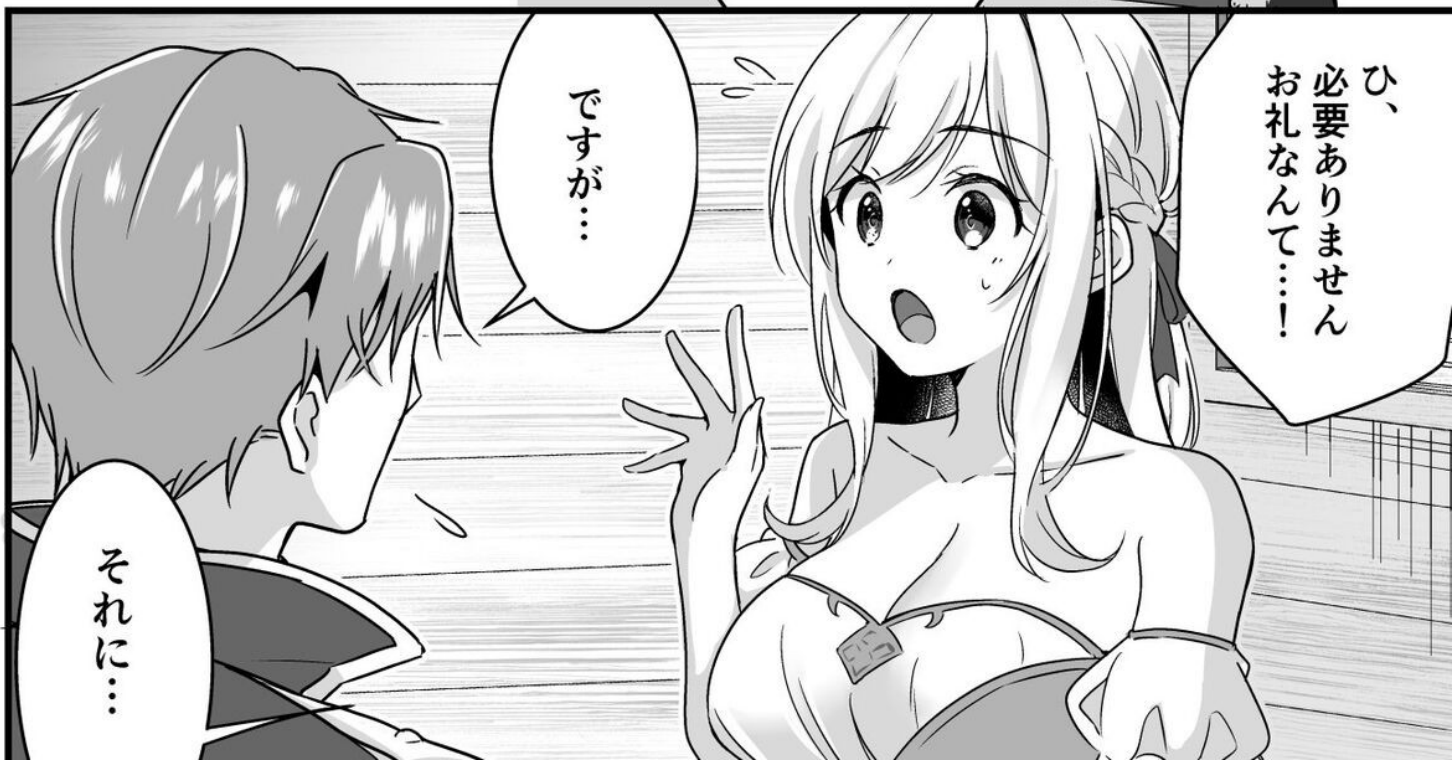
どうかこちらを受け取っていただけませんか



あなたはあの時の…！

マリーさんは俺の命の恩人です

是非ともお礼がしたいとあの時の医師に貴女のことを聞いたのですが…



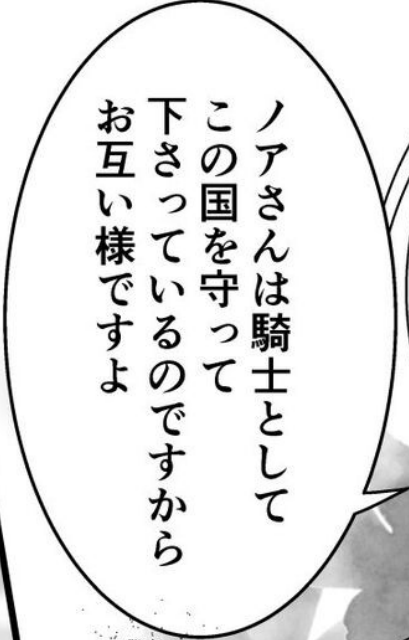
ひ、必要ありませんお礼なんて…！

ですが…

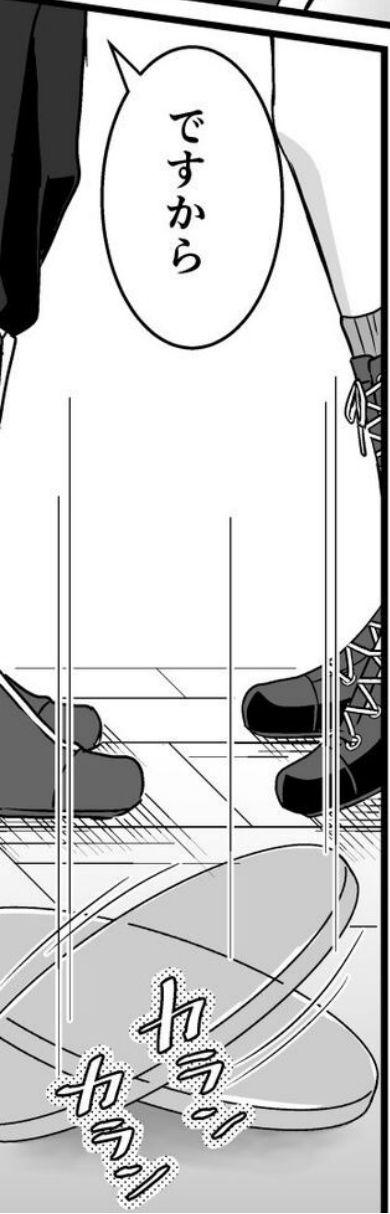
それに…



マリーさん…

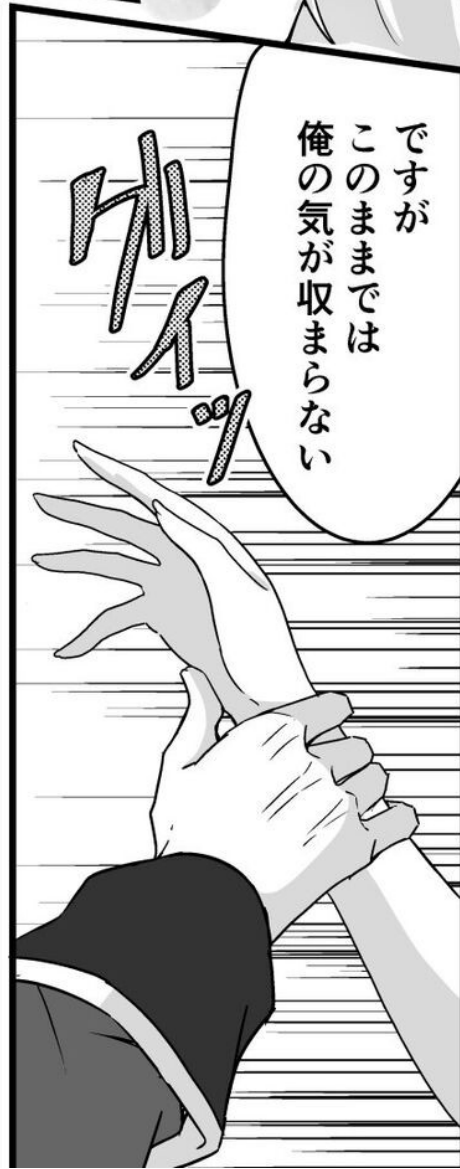


ノアさんは騎士として
この国を守って
下さっているのですから
お互い様ですよ



ですから

カ
ラ
ッ
カ
ラ
ッ



ですが
このままでは
俺の気が収まらない

カ
イ
ッ



貴女は俺の
思った通りの
ひとだ…

カ
タ
ッ

子作りを
しましよう

—
え？

医師に
マリーさんの事を
色々教えて
頂きました

彼女の家は代々
薬師を営んで
いるんだけど

マリーちゃん以外
家族は皆亡くなって
しまつてねえ

跡取りもないから
きつと自分の代で
終わりだろうって

跡取りを
ご所望
なのでしょう？

そつそついう
意味じゃ…！

救われた命は
新たな命で
返したい

まっ
待ってください
こういうのは
好きな方と…

スリ♡

貴女を
愛しています

なっ…?!

貴女は外見や
肩書目当てで
近づいてくるような
他の女性とは違う

俺はあの日
貴女の聖女の様な
笑顔の虜に
なったのです

ですから
遠慮しないで
下さい

それとも
誰か他の男と
子作りする予定でも
あるのですか？

そんな予定は
ありませんが…

でも
そういう
ことじゃ…！

ああ
良かった

ひゃっ
あのっ
ま、待って
ください…！

んむっ！

ちゅっ♡

も

にゅっ



ご安心下さい
女性を悦ばせる
心得はあるつもり
ですから

ノアさん…
まって…

やっ…

モ…
モ…

あっ

嬉しいです
マリーさんの助けに
なれるなんて…

んむうっ

力が強くて
動けない…!

んんっ

はあっ

嫌っ

何?!

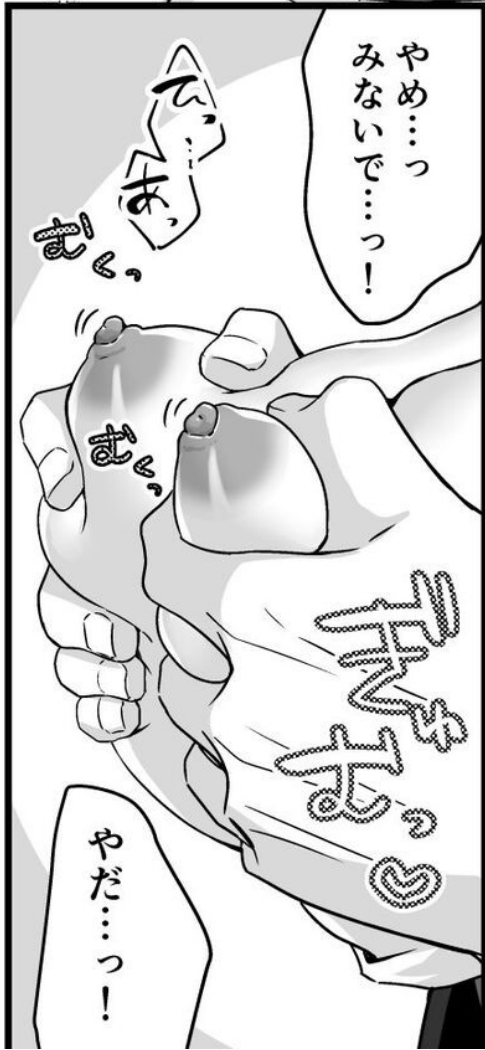
私何されて
るの…?!

恥ずかしがらないで
愛らしい声を
聞かせて下さい

服の上からでも
感じるなんて
敏感なんですね

…っ
んっ…

嫌っ





やっ
食べちゃ……っ

おっぱい
じんじん
する……っ

い

ぎゅ
ぎゅ

ぎゅ
ぎゅ

マリーさんの
おっぱい
とても美味しいです

いやあっ……!

ほら
こっちも……

あっ……

やっ

ぐ
ぐ

ぎゅ
ぎゅ

ぐ
ぐ

ぐ
ぐ

あ
あ

お願いっ
だからあっ

やめっ……

ぐ
ぐ

ぐ
ぐ

あっ

ぐ
ぐ

ぐ
ぐ



ノアさんっ
もう
こんなこと…っ

ああ
あ
気が付かなくて
申し訳ありません

キヤッ

おへその下
むずむずする…っ



駄目ですよ
隠しちゃ

んっ

くち

あ、
くち



えっちな
匂いだ…

やだっ
見ないで…

くち

もうこんなにして
いらっしやっただの
ですね



こんなになる程
感じて下さったの
ですね

ちがっ...

やっ...!!

グアイッ

ピンクで
とろとろだ...



嫌っ

そんな所
自分でも
見たことない
のに...

お願い...

やめっ

マリーさんは
どこもかしこも
可愛らしい

やっ



んっ...

んっ

あ...

ちゅっ

スリッ

スリッ

あ...
あ...

ちゅっ
ちゅっ

あ...
あ...

あなたのココは
ずいぶんと指を
受け入れ慣れている
ようですが…

誰かに
こうされた
ことが？

この家に男を
連れ込んで
いるのですか？

この淫らな穴で
昂った男根を
癒していたのですか？

貴女を聖女ように
感じたのは
俺の勘違いだったの
でしょうか

ちがっ…

じ、自分で…





自分で…？

ああなるほど

普段はご自身で
ここを慰めて
いらっしゃるのですね

見てみたいなあ
マリーさんの
オナニー…



やってみせて
下さい！

マリーさんの
気持ちいい所を
俺に教えて？

いいや…

嫌？
何故です？

いつものように
していただくだけで
良いのです

それとも
ご自身でというのは
嘘なのですか？

ひっ…

あ…

やだ...

やだ...

恥ずかしい

うっ...

どうして私...
ノアさんに
見られながら
こんなこと...

ん...

へえ...
クリとナカ
一緒にするのが
気持ちいいんですね

でもマリーさんの
愛らしい指では
少しもどかしいのでは
ありませんか？

ん...
ん...
ん...

ん...
ん...

ん...
ん...

俺が手伝って
差し上げますね

やっ
一緒に
入れちゃ...

あっ♡

ここを
ぐりゅぐりゅ
されるのが好き
なんですよね

ん...

ひゅっ♡

ん...
ん...

ん...
ん...

ん...
ん...

ん...
ん...

ん...
ん...

ん...



そろそろ
大丈夫そう
ですね



どんだん
溢れてきますね

甘くて
美味しい

どろどろ

どろどろ

だめっ
そんなとこ
舐めちゃ...っ



ま...

ああ
もったいない



ひうっ

やっ...

吸っちゃ...

どろどろ

どろどろ

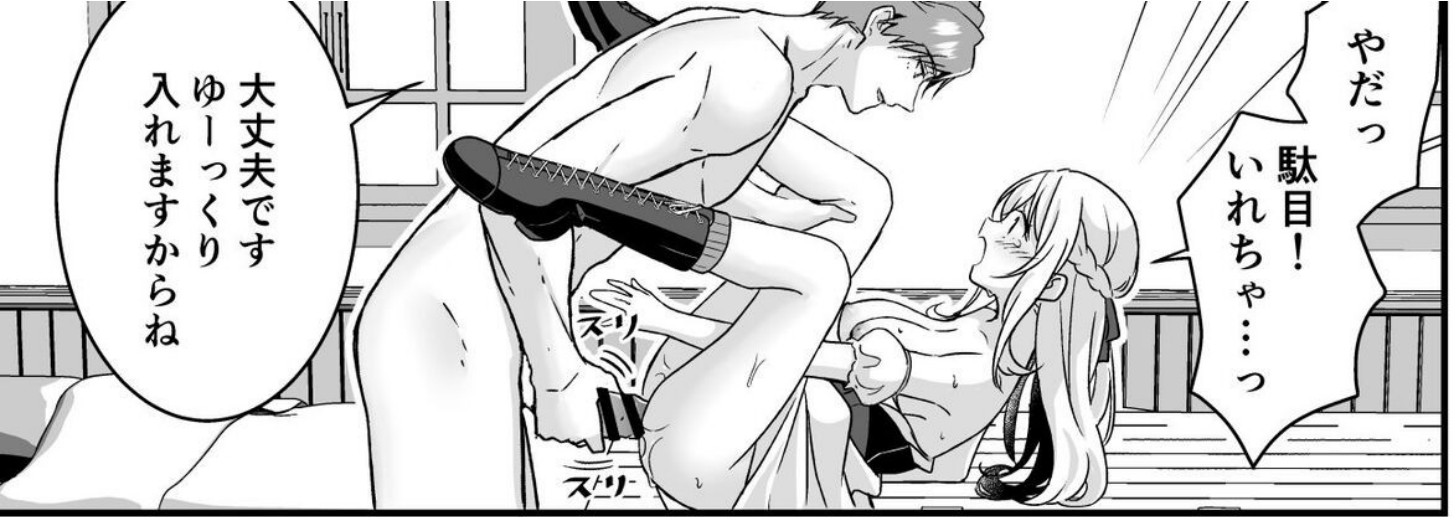


ひっ

いいや...
まって...



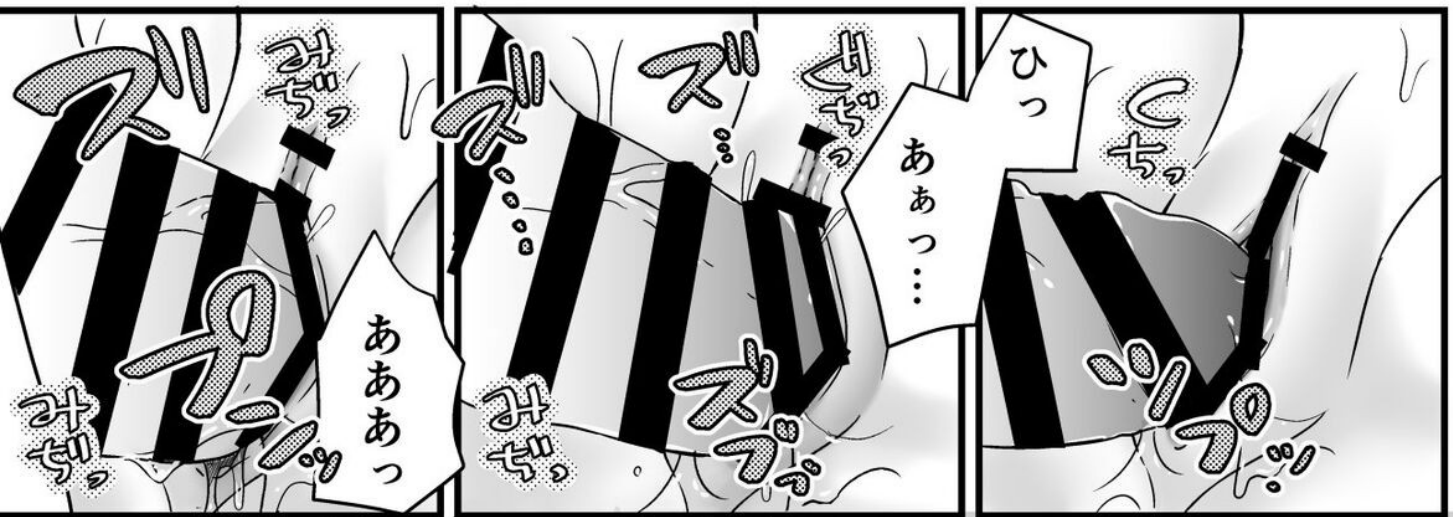
力を
抜いて



やだっ

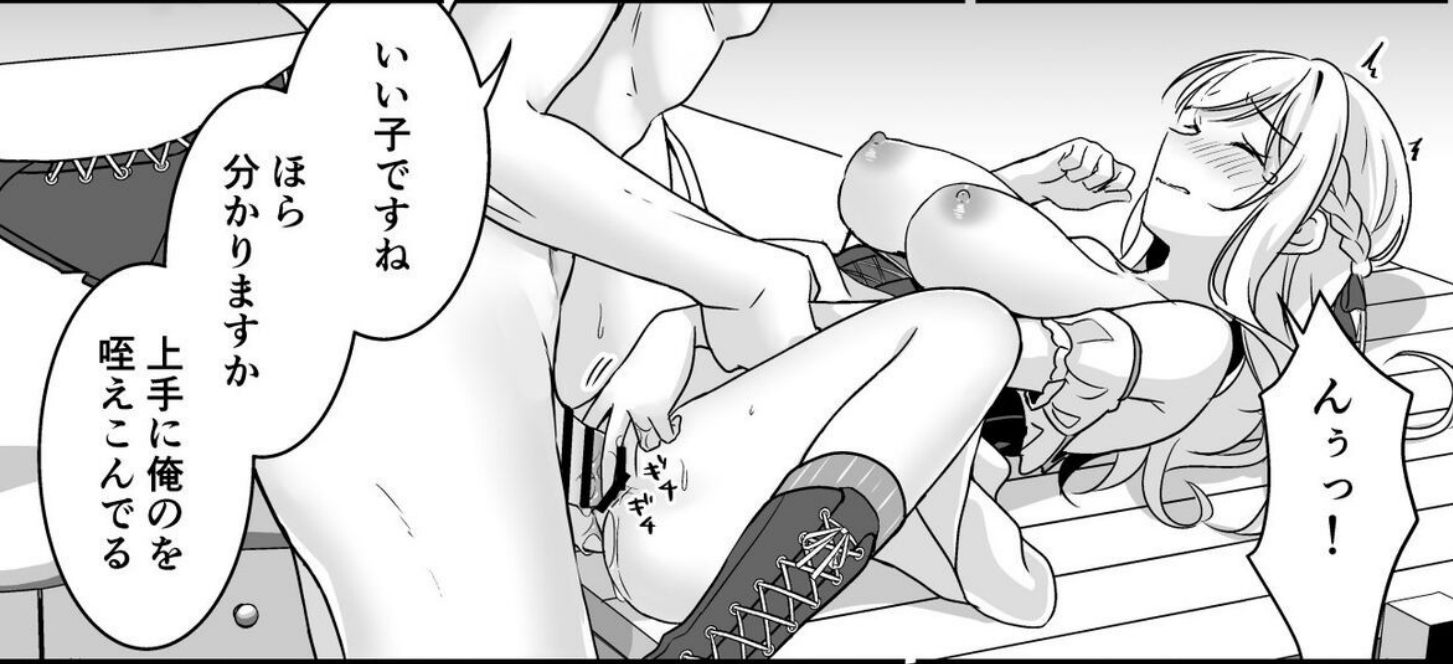
駄目!
いれちゃ...っ

大丈夫です
ゆーっくり
入れますからね



あああっ

ああっ...



いい子ですね

ほら
分かりますか

上手に俺のを
啜えこんでる

んうっ!



はい

慣れるまで
ゆっくり
抜き差し
しましょうね

いや...
抜いてくださ...っ
おねがい...っ

はっ
はっ

幸せですっ
マリーさんと
ひとつになれて…!

おなかっ
くるし…っ

やっ
だめっ

まじ

あっ
はあっ

あ
あ

一緒にいっぱい
気持ちよく
なりましょうね…!

マリーさんのナカ
俺のモノを
きゅうきゅう
締め付けて

すぐに
イってしまいそう
です…!

あっ
まって

ああ
ここが
イイんですね

だめっ

だめっ

あっ
♡

あ
♡



ほら
子宮が降りて
きてますよ
俺の子種が
欲しくて堪らない
みたいだ…



あっ
あっ♡そこっ
こすっちゃ
だめっ

駄目じゃ
ないでしょうっ？
こんなぐちゅぐちゅ
気持ちよさそうな
音出して…っ



はじめが
子作りえっちなんて
いやらしいですね

おなか
押しちゃ…!!

おく
臍奥に俺の子種を
たっぷり注いで
差し上げますからね……!



やっ
あっ♡

あっ♡



だめっ♡

貴女が
俺の子を孕むまで
何度でも……!



だめッ
ナカッ
中に出しちゃ……!

しっかり
受け止めて
下さいね……!!



おなか
あつい…

はやく
掻き出さないと…

おま

ノアさんとの
赤ちゃん
できちゃう…



栓を
しなないと…

駄目じゃない
ですか
こぼしちゃ

スリ

スリ

あっ!!

おま

あっ!!

あっ!!

安心して
ください

こぼれた分は
すぐに注ぎ足して
差し上げますから…!!

やっ
だめッ

赤ちゃんっ
赤ちゃんできちやう
からあ…!!

おっぱいも
ミルクいっぱい
出せるよう
育てないと

はいっ
元気な赤ちゃん
産みましようね…!!

駄目ッ

駄目なのにッ

気持ちいいの
止まんないっ

聞こえますか?
俺の精液と
マリィさんのが
ナカでぐちゅぐちゅ
混ざる音…!!

これ、診療所で
頂いたのですが
何だか
わかりますか？

あっそれ…

そう、あなたが
作った精力剤です

これ
特注で作った
即効性の強力な…

ひんっ!!!

喜んで
ください
これで何度でも
マリーさんを
可愛がって
あげられる

あ、あ、あ

あ、あ、あ

あ、あ、あ

あ、あ、あ

あ、あ、あ

あ、あ、あ

あ、あ、あ

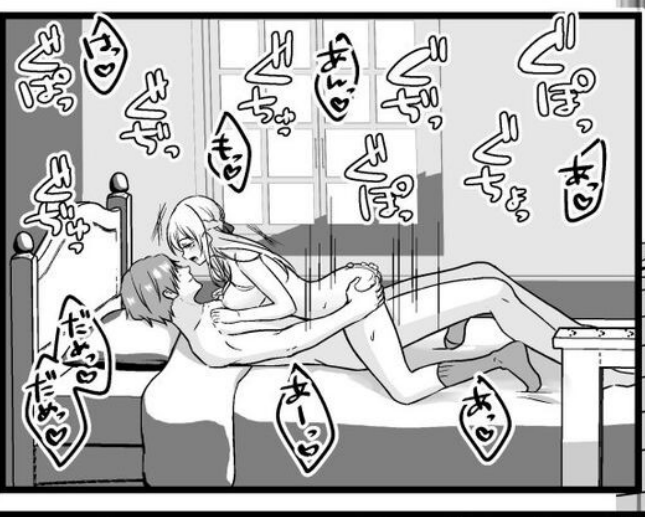
あ、あ、あ



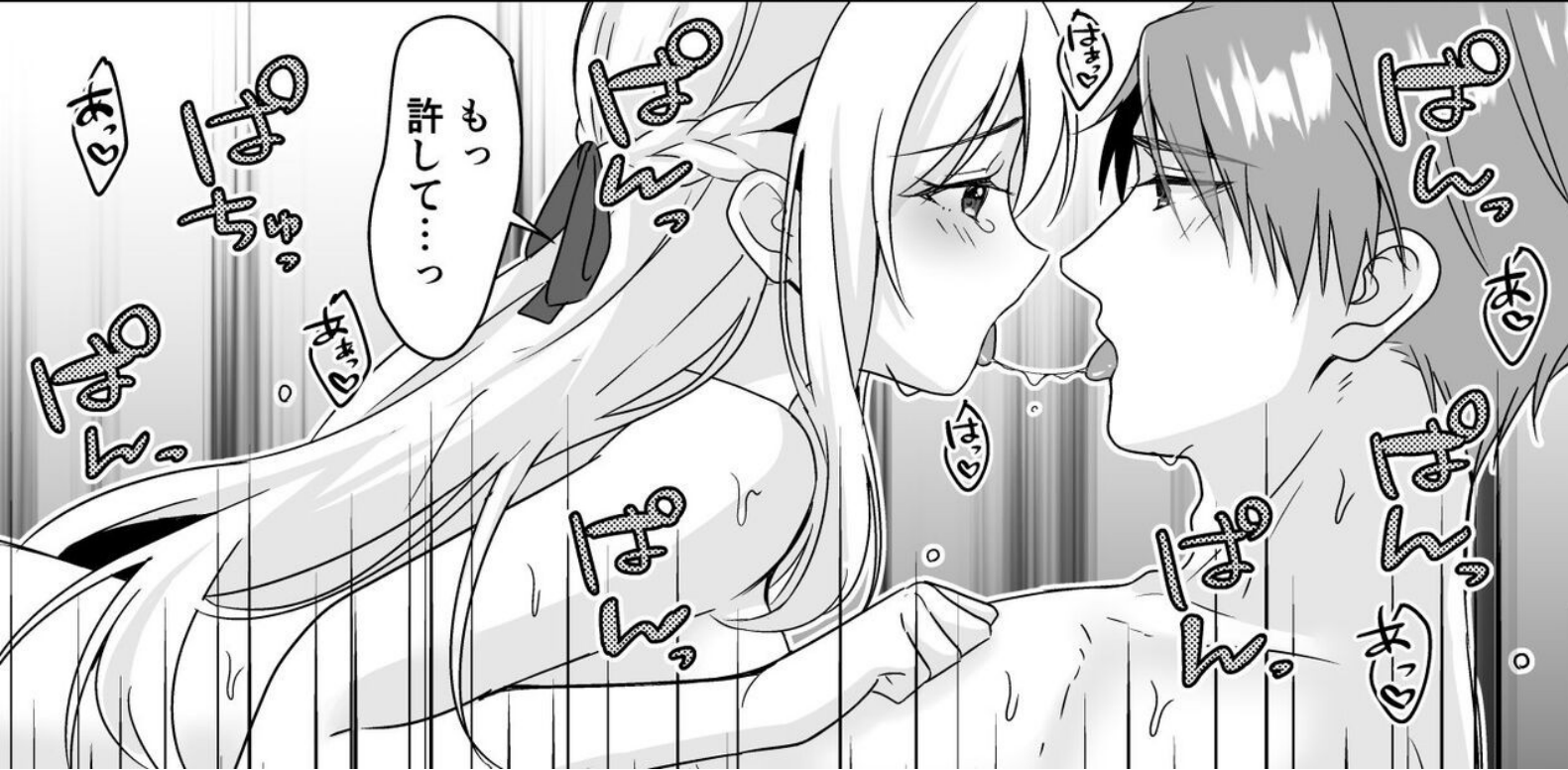
さっきよりっ
大きくてっ
かたいっ



部屋中
汗と精液の
臭いがする



もっ
許して...





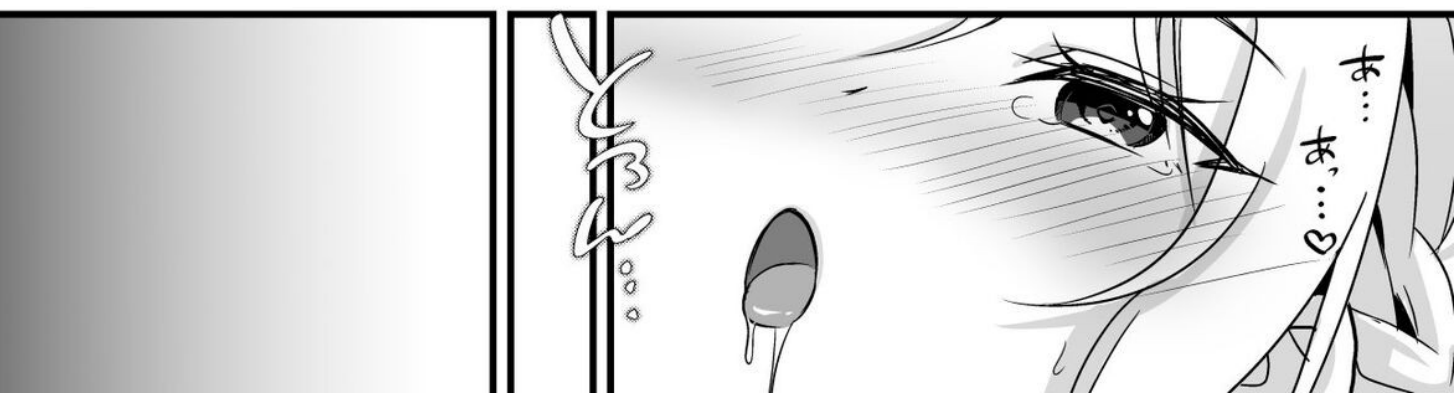
さすが
マリーさんの
作った
薬ですね

勃起も射精も
止まらない……!

もう何回
出されたん
だっけ……

あっ♡
あっ♡

あぁっ
また出るっ



今日は
このくらいに
しておきましょうか

はい

今回が
駄目だったとしても
大丈夫です

次の休暇に
また来ますから

はい

ど
了

次...?

はい

次も
またこんな...

その後
彼が訪れることは
無く一ヶ月が過ぎた

この森を
出る事も
考えたけれど

この森で育ち
この森でしか
生活したことのない
私には無理だった

でもこの家で
生活していると

あの日の行為を
思い出しちゃう…

子を授かる
ことは無かった
けれど…





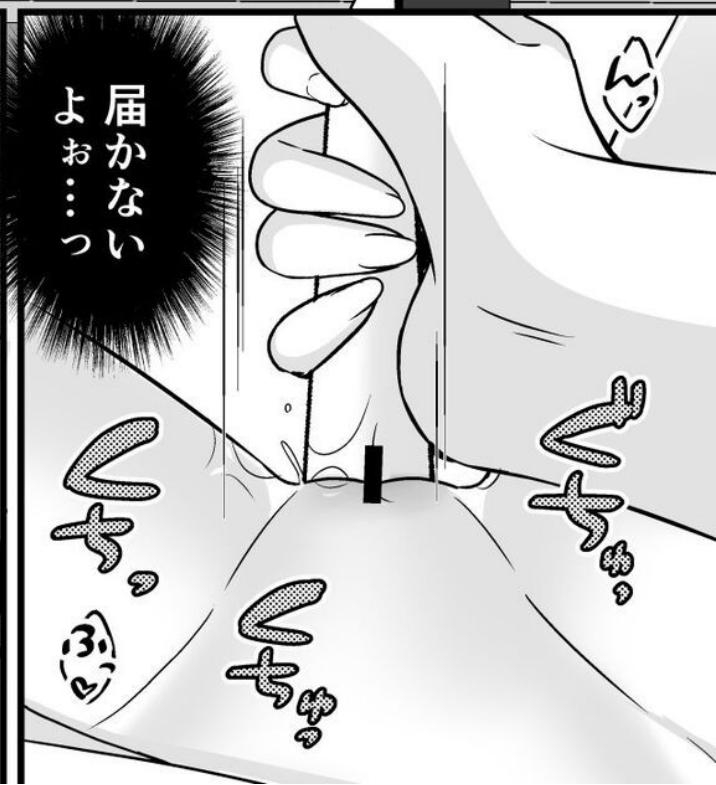
ダメ：
凹凸がないから…

ノアさんのは
気持ちいトコに
ごりゅごりゅ
引っかかって…

奥いっぱい
トントン
突かれて…っ



あっ
欲しっ♡



届かない
よお…っ

違っ
これは…

…申し訳ありません
来るのが遅くなって
しまいましたね

俺とのえっちを
思い出して
オナニーして
いたんですね

こんなものまで
使って

あつ…
私…私は…っ

ひゃっ!

ずいぶん
寂しい思いを
させてしまった
ようだ



もう
大丈夫です

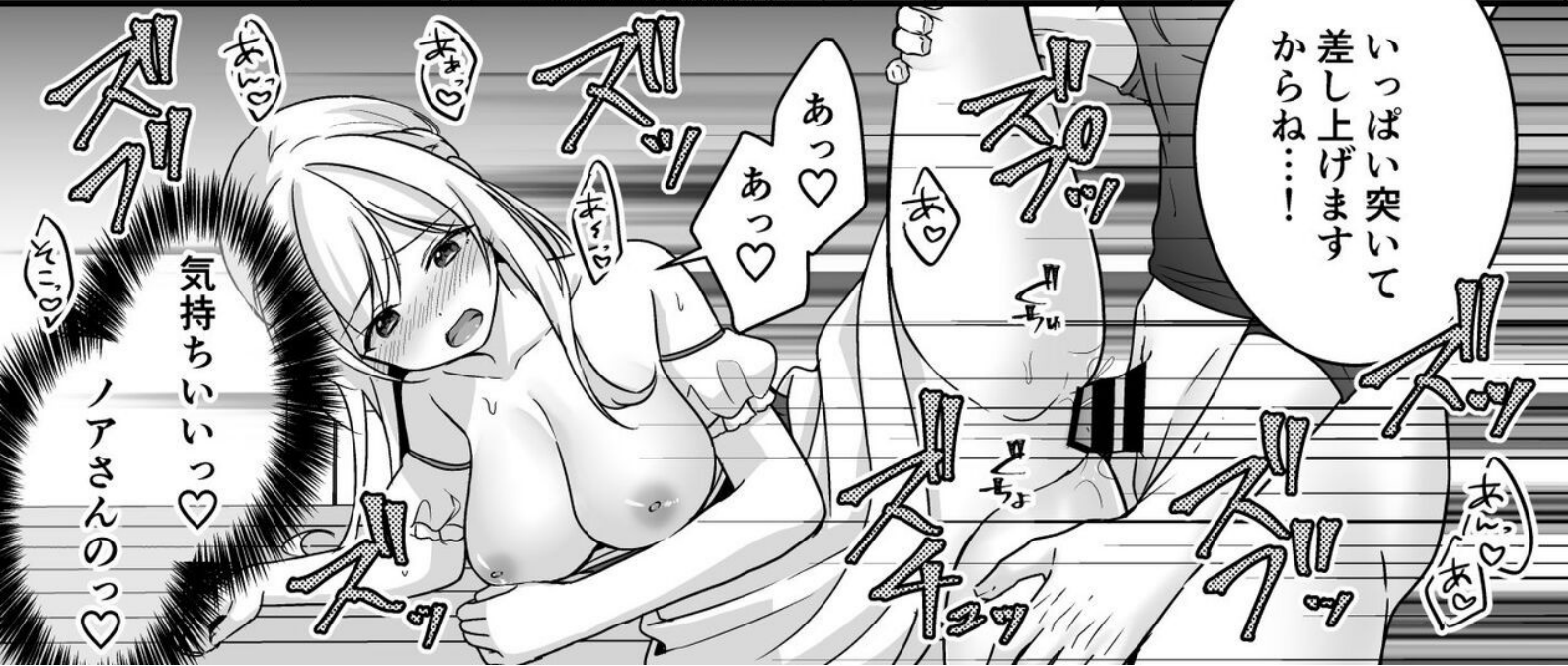
マリーさんの
気持ちいいとこ
いっぱいこすって

ノアさんの
きたあっ♡

いっぱい突いて
差し上げます
からね...!

気持ちいい♡

ノアさんの♡





あつ

ノアさつ
そこつ

ここをカリで
ごりゆごりゆ
されるのが
好きなん
ですよね…!

あつ
あつ
あつ

こんなものじゃ
さぞかし物足りな
かったでしょう

あつ♡
あつ♡
それ…

ああつ♡

そこつ
こりこり
しちやつ…!!

嬉しいなあ

貴女の身体が
俺の事をずっと
覚えてくれていて…!

ほらっ
わかりますか

マリーさんの子宮が
俺のちんぽに
ちゅっちゅっって
吸い付いてきてる

あつ♡
あつ♡
あつ♡

あつ♡
あつ♡
あつ♡

あつ♡
あつ♡
あつ♡

あつ♡
あつ♡
あつ♡

あつ♡
あつ♡
あつ♡

あつ♡
あつ♡
あつ♡



マリーさんっ

マリーさんっ

マリーさんっ

マリーさんっ

マリーさんっ

好きッ

好きですッ

今日はっ

マリーさんにつ

ふあっ♡

このひと月の間っ
あらゆる功績を
挙げっ

団長から
長期休暇を
頂いたのです…!

あ♡

おっ

あんっ♡

くるっくるっ♡

あ♡

おっ

おっ

おっ

いい知らせが
あるんですっ

あふっ♡

あっ♡

あっ♡

きちやうっ♡

ですから

これから
毎日作りえっち
しましようね…!!

…はい♡

はー♡

はー♡



サークル：ぽぽんた堂
Twitter：@popontadou
pixivID:93278725

漫画：吉井コウ
企画：華茉莉

——禁止——
ウェブサイト、SNS上へのアップロード
無断転載、翻訳、複製複写